



独立行政法人森林総合研究所東北支所及び林木育種センター東北育種場と 東北森林管理局との協定による仙台海岸林再生のためのクロマツコンテナ 苗導入試験の開始について

ポイント

- ・ 海岸林の再生のため、クロマツのコンテナ苗を利用して植栽時期別の活着・成長状況を調査することにより、植栽時期の拡大の可能性を明らかにします。
- ・ マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの種苗生産技術開発のため、西日本等から導入した苗木の活着・成長状況を調査します。
- ・ 東北森林管理局と独立行政法人森林総合研究所東北支所及び林木育種センター東北育種場が協定を締結して実施します。

概要

津波で被災した海岸林の再生には、多くの場合クロマツが利用されています。このクロマツ苗の植栽は通常春先に行いますが、コンテナ苗を利用すれば、植栽時期の拡大と生存率の向上が期待でき、植栽作業における労働投下量の平準化と確実な生存が可能になるというメリットがあります。このようなコンテナ苗の可能性を明らかにするため、時期別植栽試験を実施します。また、海岸林再生の対象面積が非常に広いため、東北地域で生産されるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ苗木だけでは不足する可能性があることから、西日本等で生産された抵抗性苗木を東北地域に導入して活着や成長の状況を調査し、種苗生産の技術開発に繋げる試験を実施します。これらの試験は、東北森林管理局と協定を締結することによって実施します。

【場 所】 宮城県仙台市若林区松林国有林87林班る2林小班内

【実 施 機 関】

コンテナ苗の時期別植栽試験：独立行政法人森林総合研究所東北支所

西日本産抵抗性クロマツ植栽試験：独立行政法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場

問い合わせ先など

独立行政法人森林総合研究所 東北支所長

駒木貴彰

独立行政法人森林総合研究所林木育種センター 東北育種場長

田之畑忠年

問い合わせ先：森林総合研究所東北支所 連絡調整室

Tel：019-648-3930 Fax：019-641-6747

森林総合研究所林木育種センター 東北育種場 連絡調整課

Tel：019-688-4518 Fax：019-694-1715

本資料は、秋田県、岩手県、宮城県の県政記者クラブに配付しています。

